

科目ナンバー： BC4023

授業コード： 2230400200

講義科目名称： 対象別公衆衛生看護活動論Ⅰ

英文科目名称： Public Health Nursing ActivitiesⅠ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	保健師課程必修
担当教員			
◎野口裕子、前川絵里子、久保野裕子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】	【授業時間】		
	前期	15時間		
	【担当教員】			
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】
	◎野口 裕子	新潟県立看護大学	209	yuko@niigata-
	cn. ac. jp			
	前川 絵里子	新潟県立看護大学	307	maekawa@niigata-
	cn. ac. jp			
	久保野 裕子	新潟県立看護大学	共同研究室2	kubono@niigata-
	cn. ac. jp			
実務経験のある教員が担当します。				
【本学の科目区分】				
専門科目				
【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】				
保健師課程				
【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】				
◎ ○				

到達目標	1. ライフステージ別の公衆衛生看護活動について説明できる。 1) 母子保健福祉活動の理念それに基づく施策・制度を理解するとともに、地域での子育て支援体制づくりにおける保健師の役割を説明できる 2) 女性の生涯を通じた健康支援として、思春期、妊娠期、産褥期、更年期各期の特定と保健師の支援方法を説明できる 3) 成人・高齢期にある人々の身体的・精神的・社会的側面の現状と健康状態を理解し、生活習慣病予防、介護予防等の保健師活動の展開方法を説明できる 2. 感染症、災害時の公衆衛生看護活動を発生前からの予防活動および発生時の体制づくりについて説明できる。 1) 感染症に関連する法体系や行政体系を学ぶとともに、感染症予防および発生時の保健師の役割を理解する 2) 災害時の活動体制と保健師の果たす機能・役割について理解する
授業概要	・ライフステージの特徴を捉え、ライフサイクルに基づく法体系および行政体系および保健福祉サービスとそ の中で機能する公衆衛生看護活動を学習し、地域で生活する人たちのQOLを高める援助の実際が理解できるよう に構成する。 ・現代の感染症対策における保健師の役割と感染症を予防するための基本原則に基づいた保健指導について提 示する。 ・災害サイクルを理解し、各期に合わせた公衆衛生看護活動のありかたや、保健師は災害予防を地域の健康づ くり活動の中に位置づけ、他機関や地域住民と連携した活動を平常時から実践する必要があることを災害事例 等から学ぶ機会とする。
授業計画	1 授業内容 授業形態：講義・演習 学修課題：わが国の母子保健の現状と地域における看護活動を理解する。 学修内容：1. 地域における母子保健システム 2. 母子保健の健康指標と課題 3. 乳幼児の発達課題と育児支援 4. 乳児の発育発達 5. 女性の生涯を通じた健康支援 6. 健康上のリスクを持つ母子への保健指導 7. 子どもの虐待予防とケア 事前学修：テキストP2-60母子保健（親子保健）に関係する法律と乳幼児健診の流れについて読んで受講する 事後学修：講義をふまえて母子保健（親子保健）分野における公衆衛生看護の役割について考察する 備考：野口 2 授業内容 授業形態：講義・演習 学修課題：わが国の母子保健の現状と地域における看護活動を理解する。 学修内容：1. 地域における母子保健システム

	2. 母子保健の健康指標と課題 3. 乳幼児の発達課題と育児支援 4. 乳児の発育発達 5. 女性の生涯を通じた健康支援 6. 健康上のリスクを持つ母子への保健指導 7. 子どもの虐待予防とケア 事前学修：テキストP2-60母子保健（親子保健）活動、女性の健康支援に関する項目を読んで受講する 事後学修：講義をふまえて母子保健（親子保健）分野における公衆衛生看護の役割について考察する 備考：野口
3	授業内容 授業形態：講義・演習 学修課題：わが国の成人保健の動向、現状と課題を捉え、成人の健康レベルに応じた公衆衛生看護活動の実際を理解する。 学修内容：1. 成人保健の動向 2. 成人期の生活 3. 成人保健施策 4. 特定健診・特定保健指導 事前学修：公衆衛生学（成人保健）で学んだ内容を復習しておく。 事後学習：ワークシートを振り返り、知識を定着させる。 備考：久保野
4	授業内容 授業形態：講義・演習 学修課題：わが国の成人保健の動向、現状と課題を捉え、成人の健康レベルに応じた公衆衛生看護活動の実際を理解する。 学修内容：1. 成人保健施策と保健師活動 2. 成人期の生活と保健指導 3. 特定健診・特定保健指導 事前学修：公衆衛生看護技術論で学んだ内容を復習しておく。 事後学習：成人保健分野における公衆衛生看護の役割について考えを深める。 備考：久保野
5	授業内容 授業形態：講義・演習 学修課題：わが国の高齢者保健の動向、現状と課題を捉え、高齢者の健康レベルに応じた公衆衛生看護活動の実際を理解する。 学修内容：1. 高齢者の保健福祉施策の動向 2. 介護予防の取り組み 3. 要介護高齢者への支援 4. 地域包括的ケア 事前学修：テキストの高齢者保健医療福祉活動の範囲を一読（概観）する。 事後学修：保健福祉施策と具体的な高齢者への支援とを関連した理解を深める。 備考：前川
6	授業内容 授業形態：講義・演習 学修課題：わが国の高齢者保健の動向、現状と課題を捉え、高齢者の健康レベルに応じた公衆衛生看護活動の実際を理解する。 学修内容：1. 高齢者の保健福祉施策の動向 2. 介護予防の取り組み 3. 要介護高齢者への支援 4. 地域包括的ケア 事前学修：テキストの高齢者保健医療福祉活動の範囲を一読（概観）する。 事後学修：保健福祉施策と具体的な高齢者への支援とを関連した理解を深める。 備考：前川
7	授業内容 授業形態：講義・演習 学修課題：感染症の発生予防活動と健康回復への保健指導の実際を理解する。 学修内容：1. 主要な感染症についての動向 2. 感染症の予防活動 3. 感染症の集団発生時の対応 4. 結核・エイズ対策と保健師活動 事前学修：テキストの感染症保健活動の範囲を一読（概観）する。 事後学修：感染症法を踏まえた具体的な感染症保健活動の理解を深める。 備考：前川
8	授業内容 授業形態：講義 学修課題：災害サイクルに合わせた公衆衛生看護活動を理解する。 学修内容：1. 健康危機管理の定義と要因 2. リスクマネジメント 3. 災害サイクルに合わせた公衆衛生看護活動 事前学修：健康危機管理の定義、リスクマネジメント、災害サイクルについてテキストを参考に意味を調べる 事後学修：講義後に振り返りを行い、災害時における公衆衛生看護の役割について考察する 備考：野口
評価方法、評価基準	・筆記試験70点は、到達目標1～2の達成度を評価する。 ・課題30点【課題内訳：ライフサイクル（到達目標1の達成度の評価）20点+感染症・災害発生時の保健活動（到達目標2の達成度の評価）10点】として評価する。 ・ただし、課題の提出状況が悪い場合は、最大10点をめどに減点する。 ・試験実施日については、最初の講義時に説明する。
必携図書	・標準保健師講座 3 対象別公衆衛生看護活動 第5版（2024）（医学書院）

参考図書・資料等	・厚生労働統計協会（2025）：国民衛生の動向(2025/2026)
受講、課題、資料配布等のルール	・欠席の場合は担当教員に事前に連絡する ・講義資料は当日に配布する
教員からのメッセージ	市民の生活と健康を守る保健医療福祉の法律や制度は、毎年のように改正が行なわれているため、社会の動きにも目を向けながら興味と関心を持って学習することを期待する。 双方向の授業にするために学生とディスカッションしながら授業を展開していく予定である。
オフィスアワー	時間指定なし（予約必要）